名前 _____

慣用句の意味を知ろう

基礎

慣用句は「まとまり」で意味を考える

① 言葉が結び付く
顔 ＋ 広い
→
② ひとまとまりで読む
顔が広い
→
③ 慣用句としての意味
知り合いが多い

「顔そのものが大きい・広い」という意味ではありません。

× 文字どおりだけで考える
「顔」＋「広い」だから、顔の大きさのこと？

○ まとまり全体で考える
「顔が広い」という一まとまりで「知り合いが多い」という意味になる。

体の部位を使った慣用句の例

目	**目を丸くする** とても驚く	耳	**耳を傾ける** よく聞く	口	**口が堅い** 秘密を話さない
手	**手を焼く** 扱いに困る	胸	**胸をなで下ろす** 安心する	腹	**腹を割る** 本心を打ち明ける

解くコツ： ①言葉をまとまりで読む → ②前後の文や場面を見る → ③体の部位そのものの意味と区別する

慣用句とは　最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問1　「顔が広い」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア　顔が大きいこと　　イ　知り合いが多いこと　　ウ　表情が豊かなこと

文字どおりの意味との違い　最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問2　「耳が痛い」の慣用句としての意味はどれですか。

ア　耳に痛みがあること　　イ　大きな音を聞くこと　　ウ　自分の弱点を指摘されて聞くのがつらいこと

体の部位を使った慣用句　最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問3　「口が堅い」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア　秘密をむやみに話さない　　イ　大きな声で話さない　　ウ　難しい言葉を使う

確認問題　最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問4　「手を焼く」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア　手を温める　　イ　扱いに困る　　ウ　仕事を急ぐ